

苺の種類

品種名	配合と特徴
とちおとめ 	久留米49号(とよのか×女峰)×栃の峰 果実は球・円錐形で鮮赤色で光沢がある。 果重が平均15gと大きく比較的硬く日持ちがよい。 女峰に比べ、糖度が高く酸度は低い。
女峰 	はるのか×ダナー×麗紅 果実は円錐形で鮮赤色で光沢がある。 大きさは中粒。果肉は硬い。東日本の代表品種。 中部地方では「章姫」の普及でほとんど栽培されていない。
豊の香 	ひみこ(久留米36号)×はるのか 果実は球・円錐形で鮮赤色で光沢がある。 大果で糖度が高く、適度な酸味もあり、フルーティーな香りが高い。収量もはるのかの2倍近く、西日本の代表品種。
章姫 	九能早生×女峰 果実はかなり細長い円錐形で18g程度の大果。 淡紅色で、硬さは中程度。 酸味が少なく、糖度が高い甘いいちご。
あすか ルビー 	アスカウェイブ×女峰 風味が良く、鮮赤色で柔らかいが日持ちする。 大粒で甘さと酸味のバランスが取れた品種。 「奈良の赤い宝石」として命名。
佐賀 ほのか 	とよのか×大錦 形は円錐形で粒が揃っている。 光沢のある鮮赤色で大粒。 輸送時にも傷みにくい。 糖度が高く、酸味が少ないので食べ易い。
さちのか 	とよのか×アイベリー 形は長円錐形で粒が揃っている。 光沢のある鮮赤色で「豊の香」「女峰」よりやや濃い。 「豊の香」に比べ、やや小さく、香気も弱い。 糖度が高く、ビタミンC含有量は多い。
あまおう 	久留米53号×92-46 果実が大きく、形が整っている。 果実の色が赤く、艶が良い。果汁の糖度が高い。 葉が立っている。葉の老化が遅い。 “色・つや・味”、すべての点で「とよのか」を上回っているのが特長。